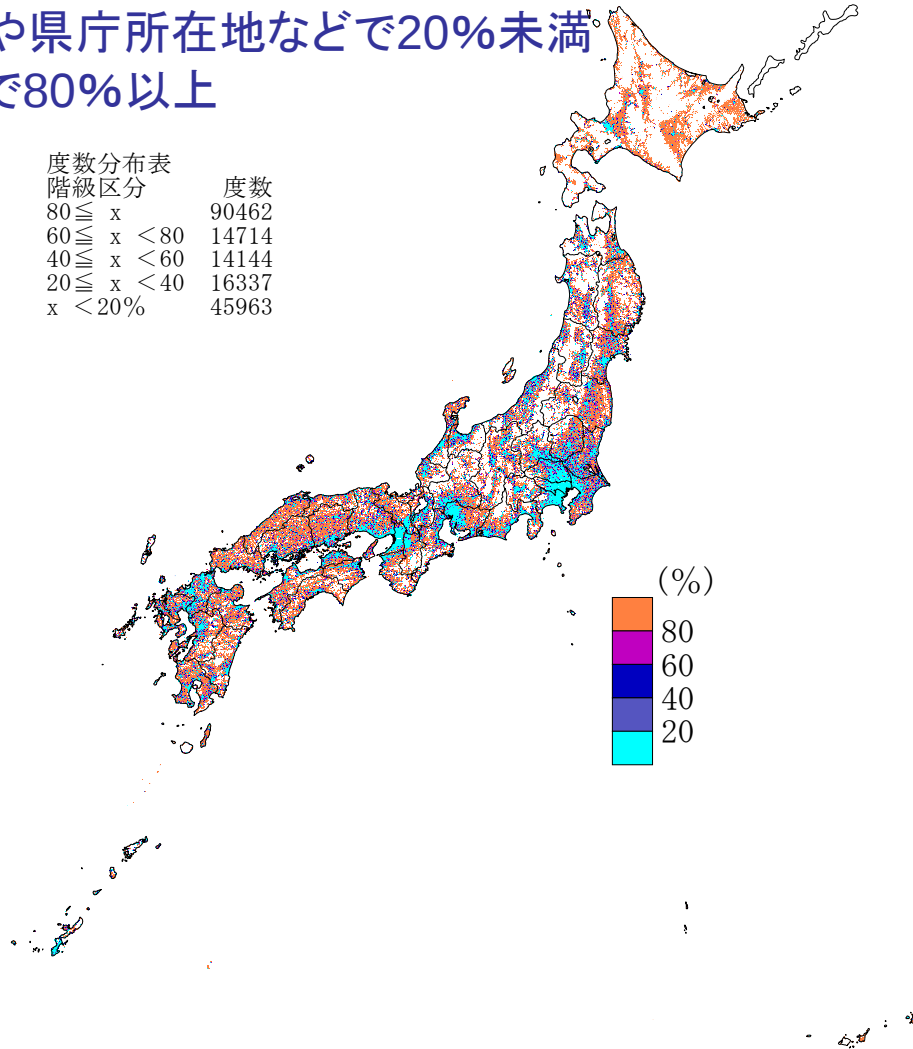


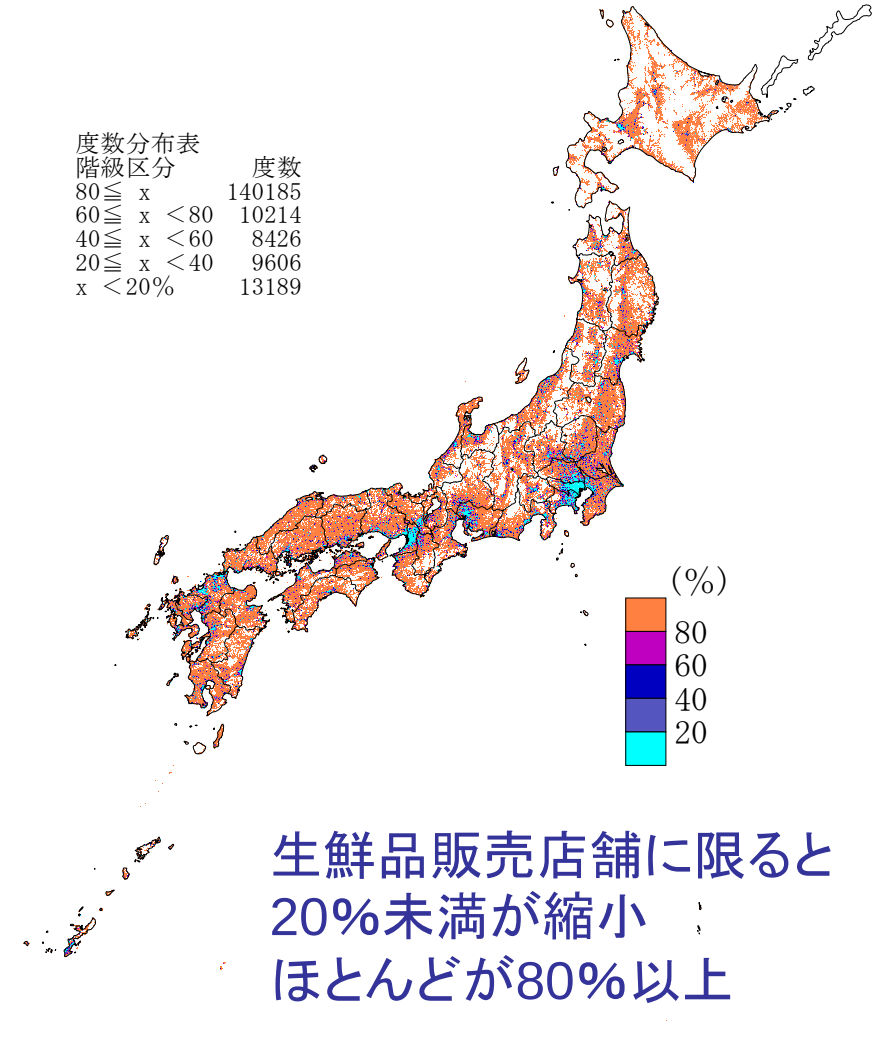
5. 消費者と食料品店の距離の現状(つづき)

大都市や県庁所在地などで20%未満
農村部で80%以上

度数分布表 階級区分	度数
$80 \leq x$	90462
$60 \leq x < 80$	14714
$40 \leq x < 60$	14144
$20 \leq x < 40$	16337
$x < 20\%$	45963



度数分布表 階級区分	度数
$80 \leq x$	140185
$60 \leq x < 80$	10214
$40 \leq x < 60$	8426
$20 \leq x < 40$	9606
$x < 20\%$	13189



生鮮品販売店舗に限ると
20%未満が縮小
ほとんどが80%以上

図6 食料品販売店舗までの距離が500m以上の人口割合

資料：農林水産政策研究所

- 注 1) 各種商品小売業及び飲食料品小売業までの距離が500m以上の人口割合（1kmメッシュ単位）である。
2) 平成19年商業統計メッシュデータ及び平成17年国勢調査地域メッシュ統計を用いて算出した。

図7 生鮮品販売店舗までの距離が500m以上の人口割合

資料：農林水産政策研究所

- 注 1) 生鮮品販売店舗までの距離が500m以上の人口割合（1kmメッシュ単位）である。
2) 生鮮品販売店舗は、食肉小売業、鮮魚小売業、野菜・果実小売業、百貨店、総合スーパー、食料品スーパーである。
3) 平成19年商業統計メッシュデータ及び平成17年国勢調査地域メッシュ統計を用いて算出した。